

平成28年度調査研究報告書一覧

年金シニアプラン総合研究機構では平成28年度の研究成果を公開しております。

タイトル	番号	主な内容	研究メンバー	定価
ハイブリッド証券に関する調査研究	28-1	ハイブリッド証券は、株式(エクイティ)と負債(デット)との中間的性質を持つ金融商品である。ハイブリッド証券は、超低金利環境の中で利回りを求める投資家に受け入れられ国内においても発行が急増してきている。 ハイブリッド証券は、ベクトルの異なる複数のニーズを満たす金融商品として設計されることから、やや複雑な仕組みを持つものとなりやすく、通常の債券にはないリスクが生じることもある。本報告書は、ハイブリッド証券の概要を幅広く紹介することによって、年金基金を始めとする投資家に、ハイブリッド証券の持つリスクや特性に対する理解を深めていただくことを目的に作成している。	樺山和也、福山圭一、下島敦(年金シニアプラン総合研究機構)	1,300円 (税込) *PDF版は無料ダウンロード可能
The Japanese Longitudinal Survey on Employment and Fertility (LOSEF): Essential Features of the 2011 Internet Version and a Guide to Its Users	28-2	「くらしと仕事に関する調査: 2011年インターネット調査」に関する英文の報告書である。この調査は、①「ねんきん定期便」に記載されている行政データ(年金加入履歴や賃金履歴など)の転記による正確なパネルデータの作成、②これらの記載事項をベースにした回顧パネル調査(転職状況、結婚、出産、両親との同別居など)、③現時点のくらしと仕事に関する数多くの項目に関する調査、の3つをインターネットを通じて同時に実施したものである。本報告書では、この調査の概要を解説するとともに、その基本的な集計結果と公的な統計調査結果とを比較することによって、この調査におけるサンプルバイアスなど調査客体の特徴を明らかにした。そして、高学歴者等への偏りが観察されたものの、最大45年にわたるほぼ完璧なパネルデータを一举に入手することができたことを確認した。このような長期にわたる、ほとんど欠落のないパネルデータは日本には過去に例がなく、また世界にもわずかな例があるだけの稀有のデータである。報告書の末尾に、得られたデータのレイアウトフォームも掲載した。	高山憲之(年金シニアプラン総合研究機構)、稲垣誠一(国際医療福祉大学)、小塩隆士(一橋大学)	冊子体 無料 *PDF版無料ダウンロード可能
海外年金資金等のESG投資に関する調査研究	28-3	メインストリームの投資においても無視することのできないものとなってきているESG投資について、海外年金資金等におけるESG投資への取り組み状況の調査を行うとともに、発行が拡大しているグリーンボンド市場、新しいインデックスのローンチが増加しているESGインデックス、多様な銘柄が上場されてきているESG関連ETFの状況についても調査を行っている。ESG投資は、上場株式を主たる対象としていたが、すべての資産クラスを対象とするものとなっており、ESGの投資手法は多様なものともなっている。また、ESG投資を行う投資家の考え方は一様ではなく、個々の投資家が利用する手法も多様なものとなっている。	樺山和也、福山圭一、下島敦(年金シニアプラン総合研究機構)	1,100円 (税込) *PDF版は無料ダウンロード可能

※ 調査研究報告書をお求めの場合は、「[調査研究報告書購読申込書](#)」をFAXまたはE-Mail等でご送付ください。

※ 別途、実費分の送料を申し受けます。

●報告書の購入およびお問合せはこちらへ
 公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
 〒108-0074 東京都港区高輪1-3-13
 NBF高輪ビル4F(総務企画部)
 TEL 03-5793-9411 FAX 03-5793-9413
 E-Mail: soumubu@nensoken.or.jp